

所信表明

第3回与論町議会定例会が9月28日から開催されました。冒頭、南町長は就任4期目を迎え、政治姿勢及び町政推進の基本的な考え方、そして主な施策等について所信を表明しました。ここにその内容を掲載します。



本日ここに、平成23年第3回与論町議会定例会が開催されるに当たり、4期目の町政を担当するに当たっての、私の所信の一端をのべてさせていただきます。誠に光栄であり心から厚くお礼を申し上げます。

さて、私は去る9月4日に執行されました町長選挙におきまして、町民有権者の厳正なる審判を受け、深いご理解とご支援のもと4度、与論町長として、町政運営の重責を担わせていただくこととなりました。

私は、今度の選挙において、町民の皆様から3期12年間にわたって進めてまいりました施策・事業の実績が評価され、さらに継続していくことに対し、信任及び負託を頂いたものと考えております。

その町民の皆様への負託と期待にお応えするためにも、議会の皆様と連携を図りながら、町政発展のため、引き続き全身全霊をささげてまいり所存でございます。

なお、今定例会は、4期目の町長就任後、最初の議会でありますので、諸議案の説明に先立ち、私の政治姿勢並びに町政推進の基本的な考え方、そして主な施策等について所信を申し述べ、議員の皆様並びに町民の皆様のご理解と一層のご協力をお願い申し上げる次第でございます。

政治姿勢及び町政推進の基本的な考え方

初めに、4期目に向けての政治姿勢並びに町政推進の基本的な考え方について申し上げます。

に、必要かつ重要と考えられる施策で重点点に取り組む施策として「戦略プロジェクト」に位置づけた6プランについても、概ね目標を達成できたものと総括しております。

しかしながら、近年、本町を取り巻く社会環境は、急速な少子高齢化の進展、地球的規模での環境問題、さらには高度情報化・国際化社会の到来により大きく変化してきており、その変化に対応する柔軟性が求められてきております。

また、地方分権の進展により、国、県が担っていた各種権限が市町村へと委譲され、新たな分野及びより専門性の高い分野での対応も自治体に求められているところであります。

このような時代背景の中で、第4次総合振興計画の総括も踏まえながら、「共に創ろう未来への懸け橋」元氣・チャレンジ・感動」を基本理念に、町民の発意と創意工夫により産業を基本とした活力のあるまちづくり、町民が島の可能性を強く信じながら、元気で新たな未来に向け果敢にチャレンジし、感動と希望を共に

主要な施策等の概要

このような基本的な考え方に基づき、引き続き、守りの戦略としての徹底した行財政改革と攻めの戦略としての外貨を獲得できる産業おこしを基本的な政策の方向性に定め、次の施策を進めてまいります。

■徹底した行財政改革の断行
まず、第1点目は「徹底した行財政改革」を断行してまいります。

これまで、与論町自立化戦略会議から町へ提出された与論町自立化への提言等を基に与論町行政改革集中プランを策定し重点目標を定め、歳出の圧縮を行うとともに、今後の新たな行政課題に対応出来るよう更なる歳入の確保に努めてきました。今後とも、消費的経費の抑制、指定管理者制度の導入や事務事業の見直し等を徹底するとともに、財源の確保に努め、行財政の健全化に取り組みでまいります。

■農業・漁業・商業で
実り豊かな島づくり

次に、第2点目は「農業・漁業・商業等の振興で実り豊かな島づくり」を進めてまいります。

まず本町の基幹産業である農業については、農業用水の確保を含む畑かん施設整備、子牛繋留施設の整備、液肥センターの整備等、農業基盤の整備拡充を進めることによりサトウキビ・畜産・園芸の振興を図ってまいります。

次にヨロン特産品支援センターの整備拡充を図るとともに、関係団体等とも連携を図りながら特産品の開発を進めてまいります。併せて水産業の振興として、作り育てる漁業、集落による漁業づくり及び施設の充実と環境整備を推進するとともに、漁獲物マーケットインング対策の充実に取り組みでまいります。

また、商工業の振興については商工会等の関係団体と連携を図りながら個性ある商店街づくりを進めてまいります。

■観光産業の再生で
元氣あふれる島づくり

次に、3点目は「観光産業の再生で元氣あふれる島づくり」を進めてまいります。

「東洋の海に浮かび輝く一個の真珠」と賞賛され観光の島として全国にその名を知られた本町の観光産業の再生を図るため、歴史や伝統文化などの地元資源を生かした体験メニューなどの開発により、沖縄との差別化を図り与論独特の観光地づくりを進めてまいります。また、観光ルネサンス調査事業で検討された各種項

目の事業化を図り交流人口の拡大に取り組みでまいります。

併せて近年のインターネットを媒体とする宣伝効果は想像を絶するものがあることから、町の公式ホームページの充実を図るとともに、関係団体とも連携を図りながらインターネットを活用した誘客体制を整備してまいります。

■若者が帰ってこれる
魅力ある島づくり

次に4点目は「若者が帰ってこれる魅力ある島づくり」を進めてまいります。

少子高齢化社会への対応は、町政の最重要施策であり、少子化対策を考慮した場合、若者の定住促進が特に重要であるとの認識から、これまでも各種施策を講じてまいりましたが、今後県営住宅の建設整備や雇用環境の整備、子育て支援事業等の拡充を図ってまいります。

幸いにも雇用環境については関係各位の本町への熱い思いと有り難いご配慮により本町に企業を誘致することができ、すでに多くの若者が希望と使命感を持って職務に専念しております。しかしながら、今後、求

人側と求職者側の職業に対する認識の違いから生ずる雇用のミスマッチ等の問題がおこることも想定されることから、若者の就業の選択肢を広げるため更に多業種の誘致を進めてまいります。特に情報産業については、光ファイバー網の整備をしたことに伴い企業側からの問い合わせも多いことから人材バンクとの連携等、企業誘致の環境整備を図ってまいります。

■保健・福祉・医療の充実に
より安心してすめる島づくり

最後に5点目として「保健・福祉・医療の充実により安心してすめる島づくり」を進めてまいります。

はじめに少子化対策はすべてに優先する最重要施策であることから前述の若者の定住促進を含めあらゆる角度から総合的にさまざまな取り組みを進めてまいりました。今後、さらに出生世代の方々が日常生活や子育てに夢を持ち、安心して子供を産み健やかに育てることが出来る環境の整備を強化してまいります。また、町民の生命と健康を守るため保健、医療及び福祉を連携させた総合的な

保健福祉政策を推進してまいります。特に医療面においては、健康づくりから疾病予防にいたるまでの総合的な保健事業を積極的に推進することで、医療費の抑制を図ってまいります。

以上、今後4年間の町政を進めていく上での基本的な考え方及び主要な施策について、概括的に申し述べましたが、まちづくりは行政のみ、いわんや私一人で成し得るものでは到底ございません。議会の皆様のご指導・ご協力はもとより、全町民の共通理解とご協力があつてはじめて所期の目標が相乗的に達成できるものと考えております。

私は、総仕上げの4期目の町政運営に臨み、愛するわが島を「子、孫と一緒に住める島に」するため、原点にたち返り、議員の皆様並びに町民の皆様のお声を十分に拝聴しながら、掲げた政策目標の達成に向けて着実かつ積極果敢に取り組んでまいります。何卒、議員の皆様並びに町民の皆様の一層のご指導とご協力を心からお願ひ申し上げます。